

第32軍司令部壕詳細調査の中間報告について

■ 調査目的

- ①未発掘区間調査：第1坑口及び第1坑道の位置を特定するとともに、第1坑道内部の状態を把握する。
- ②坑道内地質観察：第2, 3, 5坑道を構成する岩盤の状態を詳細に把握し、安全性を検討する基礎資料とする。
- ③地下水等調査：坑道内の湛水発生状況と降雨の関係性及び壕周辺の地下水の流動方向を把握する。

■ 調査内容

- ①未発掘区間調査：物理探査(チェーンアレイ探査等)及びボーリング調査を実施し、第1坑道の状態を把握する。
- ②坑道内地質観察：第2, 3, 5坑道内の詳細な地質状況を確認し、岩盤の風化・劣化状況を評価する。
- ③地下水等調査：第2, 3坑道内及び壕周辺の地下水位を計測し、壕を含む周辺の地下水の流動方向を把握する。

■ 調査状況

- ①未発掘区間調査：物理探査は完了し、ボーリング調査を実施している。
- ②坑道内地質観察：調査は完了している。
- ③地下水等調査：壕周辺の調査は完了し、坑道内の調査を継続している。

■ 調査結果(中間報告)

- ①未発掘区間調査：園比屋武御嶽石門付近のボーリング調査孔の2箇所において、地表から10～11m付近に第1坑道の床面と考えられる地層を確認した。また、坑道内が土砂で閉塞していることも確認された。
- ②坑道内地質観察：地質構造、亀裂の進行性・方向、風化の程度等を確認し、3月までに収集したデータを分析し安全性について評価を行う。
- ③地下水等調査：壕周辺の地下水データは現在とりまとめ中であり、3月までに地下水の流動方向等の評価する。

